



まだまだ残暑が続きますが、1日の中で幾分過ごしやすい時間帯が増えてきました。夏の疲れが出やすくなる時期なので、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないように気を付けましょう。

8月の感染状況

胃腸炎 3件 新型コロナウイルス感染症 13件

コロナ対応についてさまざまなご協力をいただきありがとうございました。今回は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されることなくピークアウトを迎えましたが今後にも備えて引き続き感染対策に気を付けながらお子さんの日々の生活のサポートを行っていきます。



そのハンドソープ汚染されているかも？

ハンドソープやシャンプーのボトルの詰め替え時に、空ボトルを洗浄、乾燥しないまま継ぎ足し連用をすると、緑膿菌やセラチア菌などが繁殖しやすくなります。セラチア菌は空気中や水中など自然界に多く存在していますが、その中には感染症を引き起こすものもあります。家庭環境でも生息しており、洗面台やお風呂場が部分的にピンク色になるのはこの菌が原因です。病原性はとても弱いのですが、免疫力が低下した方は肺炎や尿路感染他、重い感染症になることがあります。医療現場ほど神経質になる必要はありませんが、少し意識することで毎日行う手洗いが効果的にできるようになります。セラチア菌は乾燥に弱いので継ぎ足す場合はしっかり洗浄し乾燥して使用しましょう。



子どもの爪のケアについて

爪は指先を保護するや小さな物をつかみやすくすることや手の平側からの感触を受け止めたりする役割があります。足の爪は、安定して体を支え、踏み込む力を強くする働きもしています。子どもの爪は大人の爪と違い薄く水分も少ないため爪割れや爪周辺のトラブルを起こしやすいです。爪の手入れの目安は1週間に1回程度です。切るならお風呂上りの爪がやわらかい時に、やすりなら乾燥している時が適しています。手は爪の下の皮膚が見えない程度で、指に沿って切り両端は少し丸く整えましょう。足の爪は四角い形になるようにすることで巻き爪も予防できます。深爪に注意し爪の白い部分が1mm程度残るようにしましょう。普段の体の保湿と一緒に爪回りもケアすることでささくれや爪の反り返りも減らすことができます。爪の形が歩き方や姿勢などにも影響してくるので小さい時から気をつけてあげたいですね。



お子さんの急な病気やケガ...迷った時は？

症状から救急車（119番）を呼びべきかどうか相談したい。現在、受診可能な病院や診療所を知りたい。医師や看護師に相談したい。そのような時は参考にしてください。

子ども医療電話相談事業

夜間の子どもの急病時、病院に行っていないか迷った時

電話 #8000 または 06-6765-3650 (19時～翌朝8時・年中無休)

救急安心大阪センターおおさか

電話で医師や看護師に相談できます

#7119 または 06-6582-7119

大阪府救急情報センター

救急車を呼ぶほどではないが適切な医療機関が分からない場合

06-6693-1199 (365日24時間対応)